

繊維製品用インクジェットプリントシステム

繊維製品用インクジェットプリンターを、更新いたしました。このシステムを用いると従来の捺染型を使用せずにプリントすることが可能になります。サンプル品の作製などにぜひお役立てください。

インクジェットプリントシステムとは

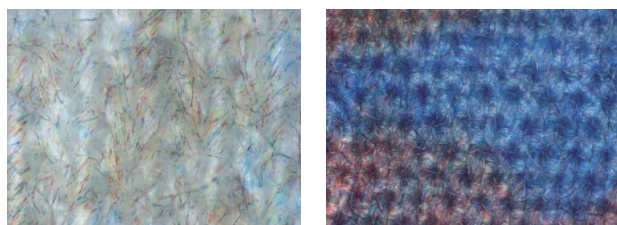
繊維製品用のインクジェットプリンタは家庭用インクジェットプリンタと同様、赤・青・黄の3原色と黒の4色で構成されていて、これを微少な液滴にし繊維に直接吹き付けて柄を表現します。



図1 インクジェットプリントシステムの外観

システムの特徴

インクジェットプリントは従来の捺染方法とは異なり、色数相当分の捺染型は必要ありません。色は上記4色のドットを組み合わせるため、無数の色表現が可能です。また、細線やグラデーションの表現ができます。製版を行う必要がなく、短納期に仕上げられるという点から、サンプル作りや多品種小ロット対応に適しています。



(a) ニット (淡色部) (b) 織物 (濃色部)

図2 プリント布の拡大図

なお、インクの染着と実用的な消費性能を得るために、前処理（固着剤やにじみ防止剤等）と後処理（熱乾燥）が必要です。あらゆる繊維素材に対応可能で、厚みのある製品にもプリントできます。おもな仕様は以下の通りです。

- 1) マスターマインド株式会社製MMP844hm
- 2) 描画方法：フラットベッド式
- 3) インクの種類：顔料
- 4) 繊維素材：全般*1
- 5) 最大試料寸法：1100（幅）×2400（長さ）×250mm（厚さ）
- 6) データ処理部
 - ・OS：Windows XP
 - ・ソフトウェア：Adobe Illustrator CS2
Adobe Photoshop CS2

*1 繊維素材によって、色合いや色落ちの程度が異なります。



図3 インクジェットプリント例
生地だけではなく、縫製品へもプリントできます

ご利用にあたって

このシステムはお客様ご自身でご利用いただくことができます。前処理剤および後処理に必要な熱プレス機もあります。詳細については担当職員までご相談ください。

事業化支援部 <八王子支所>

木村千明 TEL 042-642-7130

E-mail : kimura.chiaki@iri-tokyo.jp